2018年(平成30年)

第125号

(5月1日)

# 平安月報

The HEIAN monthly report

発 行 所:立正佼成会 京都教会

発行責任者:涉外部長 田中規之編集委員長:涉外広報 植田恭司 〒605-0041 京都市東山区三条東町230

TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

### 明社講演会開催 ~原事務局長が庭野開祖の願いと明社の本質を力説~

4月21日、明社講演会が教会研修室で開催され、 全国明社事務局長の原良次氏の講演があり、各地区役 員を含め多くの会員が参加しました。

今回の講演テーマは「開祖さまの願いと明社の提唱」。今運動は昭和 44 年に四国高松第 1 回明社推進大会で庭野開祖が提唱されて来年で 50 年を迎えます。原氏は開祖の数多くのご法話をひも解きながら、第 1 回大会に至るまでの開祖の願いを紹介されました。

昭和 39 年、東京オリンピックの話題に触れながら「真に明るい社会づくりをしなければならない」と述べられていたこと。昭和 40 年、「日本は物で栄えて、心で滅びる」と一人ひとりの信仰の大切さを述べられていたこと。昭和 41 年、「会員が確固とした信仰を持ち、日々の生活の中に活かすことが、明るい社会づくり運動の原動力です」と述べられていたこと。昭和 42年、「明るい社会建設へ」と法話を述べられていたことを披露されました。





そして、庭野開祖が人として生きていくための根本 になるもの(信条)をもった青少年の育成を願ってお られたことを力説し、明社の柱として健全な青少年育 成を掲げてきたと述べられました。

また、佼成会では「入会即菩薩」と言われるように、 会員として人のためになることを目指しており、これ と同じように人間は本来「人の役に立ちたい」という 仏性を持っているのだから、多くの市民が自ら進んで 奉仕活動することができる善意の実践の場を提供して いくことこそ明社の本質であり、国民総菩薩化が庭野 開祖の願いだと結ばれました。

最後に佐藤教会長が 謝辞の中で、財布を拾ってもらったことを披露。このような善意の 輪を広げていきましょうと精進を促されました。



人にとって、多くのとに目が行きがた 択さ ます は の られた諸行事 りや地蔵盆、区民京都市は先月、 ができる 保 いさ ある文化を再発 は いことです▼to Ŋ, 京都で行われる年 できる 護に関す まれ お 2 産 自分たちの に てくれた伝統 大切なら 見根付く 2 200 後世に伝承 <u> 回で6回</u> 13年 年前に 能楽や歌 事は、 、多くの 区民運動 特に、 ことでは 生活文: 京の 0 6 年 に 本の 京都 ち 新記 文化 和 な を共 ない Ō 今 回 ずる 文 し憶いに などを 人々 食が 舞伎 文化 な が 化 化 現 来  $\mathcal{O}$ な を  $\mathcal{O}$ が 代 新

## 今月のことば ~楽しく生きる~

#### 伏見支部婦人部長 村上ゆき

今月は伏見支部婦人部長の村上ゆきが担当させて頂きます。よろしくお願い致します。

佼成5月号の会長先生のご法話「楽しく生きる」を 読ませていただき、私が感じたことは、どちらが楽し いかというところで、本会年中行事、「寒中読誦修行」 の期間中に雪が降って、寒修行に行けない方が多くお られました。「人がせっかくの寒修行をしているのに、 どうしてこんなに雪が降るんだ」とうい人もいたり、 また、「雪のおかげで、ほんとうの寒修行らしい修行を させていただけて、ありがたい」と言われる人もいま した。会長先生は『どちらの見方をする人が、楽しく 生きられると思いますか。』とおっしゃっています。私 はそこを読んで、そういう場面になった時、絶対、先 に書いていた方を思うと思います。なぜそのように思 うのかというと、私は先月、降誕会・花まつりで実行 委員長のお役をさせていただきました。初めての大役 ということもあり、何も分からないところからのスタ ートでした。今年、教団創立80周年という良き年の 式典は今年しかないというのもあり、また、例年と同 じようにしないといけないという思いでいました。 色々と内容が決まる中でプロジェクトの方から意見や 質問を頂くなかで、素直にものごとを受けとめられず にいました。『絶対こうじゃないといけない』という気 持ちが強く、自己中心的な考え方をしていました。な ぜなんだろうと思うと、先に書いたような見方をして

いたからだと気づきました。天地自然の変化を素直に みて、それをありのままに受けとめ、ものごとを「正 見」で見るかどうか、その違いだと書かれていました。 「中道(かたよらない)」が大事というこころで、「八 正道」の「正見」は容易にできないこと、悟った人だ けが会得できることとあります。また、「正見」は邪な 見方や偏った見方、つまり自己中心の見方で見ると、 不平や不満、怒りを覚えることも、大らかに受けとめ ることで、気持ちが楽になる見方とも言えると書いて ありました。先に書いた中で、実行委員長のお役だけ に限らずですが、天地自然のはたらきを素直に受け止 めること。また、その時その時に応じた対応をするこ とで、偏った見方や不平不満に思っても、大らかな気 持ちで受けとめることの大切さを教えていただきまし た。「諸行無常・諸法無我・一切皆苦」という世の真理 に照らしてものごとを見る。と書かれています。仏様 の教えに則って生きる基本であり、またすべてとあり ます。私はこれまで、この世の真理に照らして物事を 考えたこともなく過ごしていました。何かあった時、 仏様は何を教えて下さっているのかをよく考えて、 日々の生活を送りたいです。また、「諸行無常・諸法無 我・一切皆苦」の意味も詳しく知らないし、「八正道と は」と言われても分からないので、一つ一つがどうい う意味なのかを一から勉強したいと、会長先生のご法 話を読ませていただき、感じました。

# 私の手取り修行 ~ある主任さんからの報告~

あるおばあさんを 10 年程前から手取りしています。昔は支部の文書のお役をされていました。御彼岸では自宅を提供して下さいました。一人で大きな屋敷にお住まいですが、今は認知症が始まり身体もだんだんと思うように動かなくなり、私は同じ法座の方と共に屋敷のお片づけやお買い物などさせて頂いています。昔は私に開祖さまの著書をよく拝読してはたくさん教えて下さいました。

このたび御彼岸の戒名の提出を最後に、家族に見守られながらも老人ホームに入られることになりました。

私は寄り添うことしか出来ないので、できる限り共 に寄り添い一緒に学び合うことで私自身成長出来まし た。

先日の主任勉強会では佐藤教会長さんから、会員さん は開祖さまからお預かりさせて頂いている大切な方々 だと教えて下さいました。大変ありがたい勉強会でし た。

これからも素敵な会員さんと温かく優しく布教をさせて頂きたいと思います。お役を通して会員さんのお陰さまで勉強させて頂けると思うと嬉しくなります。

## はんなりカフェ in かめおか ~仕事とお役の両立を学ぶ~

3月31日(土)の午前、亀岡市のガレリアかめおかにて婦人部主催の「はんなりカフェ in かめおか」が開催され、各支部婦人部長をはじめ6名が受講した。川野輪講師が「仕事とお役の両立」をテーマに婦人部報『エッセンス』を題材に講演。教会のお役のみならず、地域や学校の役員など何役も受けている婦人部層に対し、思い通りにならずブッキングしている時に自

分で決める前に聞いて下がってお願いすることで「我」が取れていくと解説。また苦しい、しんどいことの中から何がありがたいかを見つける感性を磨くことが大切だと説明した。参加者は、それがオーダーメイドの功徳になると学んだ。その後、法座でかみしめ、各自が自分のものに出来た。婦人部としては、今後もこのような機会を作っていきたいと考えている。

#### 祇園祭ボランティア 勉強会・説明会 ~加盟団体代表者が出席~

4月7日、京都アスニーに於いて、平成30年度の 祇園祭ボランティアに向けて勉強会・説明会(主催: 京都・祇園祭ボランティア21)が開催され、京都教 会責年部からも代表者が出席しました。

今年度から新役員の体制のもと、会長の挨拶に始まり、勉強会には講師として公益財団法人祇園祭山鉾連合会副理事長の福井藤次郎氏が講演を行いました。福井氏は祇園祭におけるボランティア 21 の存在の大きさ、組織を運営するにあたる秘訣などを述べながら、約50年間も合同巡行として7月17日に行ってきたものを、2014年から後祭巡行として24日に復活に至った経緯を披露。またクラウドファンディングの現状など、伝統ある祭りでありながら時代に合わせた祇





園祭ということに持論を展開しました。山鉾連合会と ボランティア 21 との友好的な関係が今後も日本を代 表する祭りを作り上げていくと結びました。

その後は新委員長のもと加盟団体向けに今後のスケ ジュール説明が行われ、今年のボランティアが始動し ました。

# 年次委員会開催 ~新宗連京都府協議会~

4月10日、新宗連京都府協議会は、立正佼成会京 都普門館にて、平成30年度年次委員会を開催しまし た。

平成 29 年度の事業及び決算報告を満場一致で承認し、平成 30 年度の事業計画及び予算案を審議しました。今年度の事業として、従来実施していた「環境学習会」に代わって「憲法学習会」を実施することにしました。憲法改正の国民投票が行われる際に、「憲法」についての認識を高め、一人ひとりが自分で判断して一票を投じることができるように、今年の重点事業にしました。





## 本部ホームページが刷新

4月8日より本部ホームページが刷新されました。 各ページは今後紹介していく予定です。

http://www.kosei-kai.or.jp/





## 日常生活の中の仏教用語 ~えっ?こんな言葉も仏教が語源?~

今年から始まった新コーナー。言葉のルーツを知って仏教に親しみを持ちましょう。

【奈落(ならく)】

「奈落の底に突き落とされる」などといい、最悪の 状態に陥ってしまうことを表す。

サンスクリット語の「ナラカ」を音訳したもので、

意味は地獄。さらにどん底といった意味も。

劇場の舞台の床下にある地下室を奈落というのは、 その暗さからだろうか。

(「仏教早わかり百科~主婦と生活社~」から抜粋)

#### 記事募集のお知らせ

読者のみなさんから記事や写真・絵を募集します。 年齢、性別は問いません。教会までお送り下さい。

- •5月3日憲法記念日にちなみ、今の憲法問題に対して私の一言
- ・小学生の自由な絵やお母さんの似顔絵

#### 話 集 野日 敬 開 衵 法 庭

新しい年度を迎えて、ひと月が経ちました。様々な条件の中で、どの様に考え行動すればいいのか・・・。 今月も、庭野開祖の法話から学んでみたいと思います。

#### 【どちらの道を選ぶか】

新たなスタートに胸がはずむ四月の月を迎えました が、それをよそに、受験の失敗や不本意な配置転換で、 真っ暗闇の思いでいる人もいると思うのです。

自分はこんなに努力していると思っているのに、そ れが認めてもらえず、努力が裏切られる結果になって しまったら、自信が吹っ飛んで、やけを起こしたくな ることもあると思うのです。しかし、そのときがいち ばん大事なときなのですね。

私たちはぎりぎりのところまで追い込まれないと、 なかなか真剣になれません。そこのところで原因を外 に転嫁して恨みに凝り固まってしまうか、それを契機 に自分をもう一度見つめ直すかで、これからの道がま るで違ってしまいます。

自分を反省する心になると、人の言葉を素直に聞く 謙虚さが生まれます。人の言葉に耳を傾けて、教えら れるとおりにものごとを見、考えようとつとめると、 我見がきれいに抜けていくのです。これが懺悔なので す。

結果はおまかせしてしまって、自分の最善を尽くそう と心が決まると、自分では考えてもみなかったような 結果がいただけるのです。

#### 【成功と失敗】

失敗が好きな人はいませんが、極端に失敗を恐れて 何もしない、何もできないという人が、若い人に多く なっていないでしょうか。事を始める前に結果を考え たら何もできません。

とにかく、まず全力を尽くしてやってみる。それで 思うような結果が得られなかったら、やり直せばいい のです。お釈迦さまでも、そうなのです。お釈迦さま は、命をけずるような苦行を六年間も続けられたので われました。

私たちは、せっかく大学を出たのにそれがなんの役 にも立たなかったら大失敗と考えますが、大学で何年 間か努力してみなければ、それがむだかどうかも分か らないわけです。この世に、なんの役にも立たないむ だなどあるはずがありません。その失敗の裏側に、成 功があるのです。お釈迦さまのお悟りも苦行に命をか けられた六年間があってこそ得られたのです。

私たちの目に成功と映り失敗と見えることも、一つ のことの表裏です。失敗の屈辱を通して得た教訓は、 二度と忘れるものではありません。なにごとにも全力 を尽くすと、失敗が成功につながり、成功に奢れば失 敗が待ち受けています。

#### 【禍福は裏表】

新年度は、どこでも配置転換や異動があります。抜 擢されて意気込む人もいますが、その陰には、「会社は、 私の働きを評価してくれない」と、すっかり落ち込ん でしまっている人もおられると思うのです。

私たちは「嫌なこと」と「うれしいこと」を二つに 分けてしまいがちで、自分の意にそわないことはあく までも拒絶して、気に入るほうだけを歓迎するのです が、じつは禍福はひと続きのもの、表裏一体のものな のですね。

雨がふれば、次は晴れる日がきます。晴れが続けば、 次には雨のふる日がきます。いつも春や夏のような陽 気が続くつもりで有頂天になっていると、冬の寒さに 震えなくてはならなくなってしまいます。しかし、冬 の日に力を蓄えておけば、その力を思いっきり発揮で きる春が必ず訪れるのです。

栄転がチャンスなら、左遷もチャンスです。それをど ちらに変化させていくか、自分の受け止め方次第です。 「いま自分に与えられたこの場が修行の場」と腹が決 すが、それが悟りへの道でないと知って、やめてしま、まると、たちまちそれが結果になって現われてきます。 (つづく)

#### 5~6月の主な教会行事

#### 5月1日(火) 9:00~ 朔日参り 開祖さまご命日 4日(金) 9:00~ 10日(木) 9:00~ 脇祖さまご命日 15日(火) 9:00~ 釈迦牟尼仏ご命日 20日(日) 9:00~ 青年の日こころひとつにフェスティバル 6月1日(金) 9:00~ 朔日参り 4日(月) 9:00~ 開祖さまご命日 10日(日) 9:00~ 脇祖さまご命日 9:00~ 15日(金) 釈迦牟尼仏ご命日

#### ●メッセージ

4月13日(日本時間14日)、トランプ大統領はシ リア・アサド政権の「化学兵器施設」に対する局所攻 撃を命じたと発表しました。これは米国とロシアとの 関係を悪化させ、地域が不安定になるばかりと思われ ます。政府はその直後、米国の行動を支持するとしま した。不思議なことに 14 日に根室半島南東沖で震度 5弱の地震を観測後、愛知県西部で震度4など各地で 震度 3 以上の地震が多発、火山も噴火が相次いでいま す。これは仏さまからのメッセージでしょうか。